

■開催要領

1. 日 時 平成24年7月20日(金) 14:00~18:30
2. 会 場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 総合研究棟4F

※会場詳細は会場案内をご覧ください

3. 主な次第

- | | | |
|--|-------------|---------------|
| (1)開演挨拶 | 主催者挨拶・次第説明 | 14:00~ |
| (2)講 演 | | 14:10~16:20 |
| ◇テーマ「マイクロ・ナノ加工が拓く新たな表面機能」 | | (14:10~14:50) |
| 講 師 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 機械システム工学部門 教授 太田 稔 氏 | | |
| ◇テーマ「伝統技能の『間』と『按配』を活用したロボット技術」 | | (14:50~15:30) |
| 講 師 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 先端ファイブロ科学部門 教授 森本 一成 氏 | | |
| 《 休憩 》 | | |
| ◇テーマ「商品の魅力をつくるプロダクトデザイン」 | | (15:40~16:20) |
| 講 師 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 デザイン学部門 教授 山本 建太郎 氏 | | |
| (3)見 学 会 | 美術工芸資料館 | 16:20~17:20 |
| (4)交 流 会 | 参加者全員による懇親会 | 17:20~18:30 |

★交流会では飲食を伴いますが、お車でお越しの方にはアルコール類の提供を致しませんのでご了承ください

4. 募集対象 中堅・中小企業製造業の経営者および技術担当者の方を優先します。
5. 定 員 50名程度(先着順)
6. 申込方法 参加申込書をE-mail(staff@resona-fdn.or.jp) 又はFAX(03-3444-9546)にてお送り下さい。

■講演概要・講師略歴

「マイクロ・ナノ加工が拓く新たな表面機能」 太田 教授

講演概要:様々な製品がますます小型化・高機能化していく中で、これからの「ものづくり」は、新たな機能を付加させる「高機能加工」が重要となります。ここでは、新たな表面機能を切り拓くマイクロ・ナノ加工について具体的研究事例と将来展望について述べます。

講師略歴:1976年 日産自動車(株)入社、1997年 東北大学大学院工学研究科博士後期課程 修了、2008年同社退社・京都工芸繊維大学着任、2010年 同大学ものづくり教育研究支援センター長兼務、現在に至る。

「伝統技能の『間』と『按配』を活用したロボット技術」 森本 教授

講演概要:熟練者の動作解析や生理計測などから得られたデータを解析し、伝統技能における「間」と「按配」の役割について検討します。そして我々の定義した技能の「間」と「按配」がロボット制御の新たな活用はどう展開できるかについてお話します。

講師略歴:1978年 京都工芸繊維大学大学院工芸学研究科電子工学専攻 修了、同大学 技官、講師、助教授を経て、2004年 同大学院工芸科学研究科先端ファイブロ科学部門 教授、現在に至る。

「商品の魅力をつくるプロダクトデザイン」 山本 教授

講演概要:プロダクトデザインは安全で確実にはたらく製品をさらに人にとって魅力的な商品として価値を高めます。使用環境にマッチし、使えば心地よくフィットする。製品が分かりやすく伝わり、ユーザーの価値観に合致していくトータルなデザインが商品満足度を高めていきます。

講師略歴:1973年 京都工芸繊維大学工芸学部 意匠工芸学科 卒業、1973~2001年(株)GKインダストリアルデザイン在籍、2001年 京都工芸繊維大学工芸学部 教授、2006年 同大学院工芸科学研究科 教授、現在に至る。